

この度、大西先生の訃報を受け、心からの哀悼の意を表します。先生は私が大学 4 年生から修士課程を終えるまで、学問と研究の道を導いてくださった恩師であり、そのご指導のもとで多くを学び、成長することができました。

大西先生はその卓越した知識にも関わらず、常に謙虚な姿勢を崩さず、学生一人ひとりの質問に対しても、いつでも真摯に耳を傾け、丁寧に答えてくださいました。その姿勢は、私たち学生にとって大きな安心感と信頼感を与えてくれました。たまに甘えてしまうこともあったなと思い出されます。ちょっとした質問をしたつもりが、ホワイトボード一杯の解説になったこともまありました。

先生と過ごした非公式な場(飲み会など)でも、学問に対する深い愛情と共有する喜びを感じることができました。当時私が研究していた内容やそれ以外のテーマについても非常に多くの議論をさせていただきました。夢物語のような学生の意見でも親身に耳を傾け、正面から会話いただけたことは何よりの楽しみであり、私にとってかけがえのないものでした。

特に、先生の考える姿勢そのものが、私の社会生活全般で活用できていることに、深く感謝しております。先生が示してくださった、問題に対するアプローチの仕方や、常に学び続ける姿勢は、私が社会人として歩む上での大きな指針となっています。

昨今の生成 AI ブームにおいて、原子核物理への適用など、先生のご意見を直接伺う機会を楽しみにしていました。しかし、その願いが叶うことはありませんでした。先生のご冥福を心からお祈りするとともに、知識と情熱そして考える姿勢などの精神を引き継いでいきたいと思っております。

大西先生、これまでのご指導、本当にありがとうございました。先生のご冥福を心よりお祈り申し上げます。

山口 周志 (日本マイクロソフト株式会社)